



令和元年度 『腹の底から笑いあつた家族エピソード』 大笑

【優秀賞】

母のオシヤシ事件ほ

栗生小学校五年

岡本 啓汰

ある夏の日の夕方、帰たくすると一番下の三さいの弟が、げん関まで走ってきた。そして、

「母さんの足、痛い痛いなんよ。」
とうったえてきた。「血が出たんよ。」
と言いながら、ぼくを引っばって母の元へ連れて行った。母は元氣そう
で、ケガをしたようではなかった。
「つめから血なんよ。」と、また弟
がうったえるので、母に大丈夫かと
たずねた。母はきまらずに、足を
見せてくれた。つめに真っ赤なマニ
キュアをぬっていたのだった。弟は
ネイルを知らない。

母は弟が生まれてからは、マニキュアをぬっていないかった。育児でいそがしく、するひまもなかったのかもしれない。母いわく、かたづけをしていたら、マニキュアが出てきたので、久々につけてみたというものだ。あまりにあざやかな赤いつめを見て、弟がおどろき心配したのだった。ぼくは母に、赤はやめたほうがいいよと告げた。

よく朝、弟がぼくのところに来て、「母さん、足つめたんよ」とうたえてきた。母のつめを見たら、今度は真っ青にぬられていた。ぼくが、もっとおとなしい色はないのかと聞くと、「思春期の子の親みたいなことと言っね。」と母が言い返し、みんなでばく笑した。

令和元年度 『少しのがまん』
川柳大賞

【優秀賞】

お母さんの

横がいいけど

弟が



府中明郷学園三年

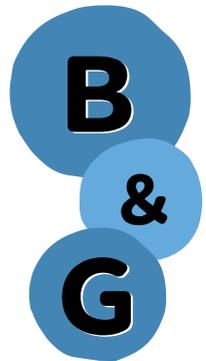
小川 功惶

(自作の解説)

ぼくもおかあさんのよこにいきたいのに、弟がずつとお母さんのそばにいるから話をしたいけど、少しがまんしているぼくがいる。

(家族の一言)

弟に手がかかり、側にいることが多くなってしまうので、一人じめをして話を聞いてもらったり、甘えたい気持ちがあったりしても、がまんしているところがあるようです。



夏の短期水泳教室

まったく泳げない子も、

もう少しうまくなりたい子も、もっと早くになりたい子も、誰でも参加できます。

短期間で集中的にやることで、より早く上達できます。

とき 8月3日(月)～7日(金) 10時～11時15分

ところ 府中市B&G海洋センター

対象 幼児、小学生、義務教育学校1～6年生

定員 先着40人

参加料 会員5,000円、一般6,000円
持参するもの 水着、帽子

申し込み方法 参加料と印鑑を持参して申し込んでください。

申し込み・問い合わせ先

府中市B&G海洋センター

☎43-4831

■子育て支援センターは、午前と午後に3組ずつ利用ができるようになりました。個別相談も受け付けています。事前に各子育て支援センターに電話で予約をしてください。

府中市子育て支援センター
☎47-1188

上下地域子育て支援センター
☎62-4437

国府地域子育て支援センター
☎45-5558

キッズランドMOMO
(和光園地域子育て支援センター)
☎54-2733

府中市こどもの国

ホームホーム



考え、学び、感じて、遊ぶ場所。たのしく、心はずむ



ホームページ



Instagram

新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、利用を制限して開館しています。詳しい内容は、ホームページを確認してください。